

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

(9月9日)

令和2年第3回鹿嶋市議会定例会

番号	質 問 事 項	質 問 者	答 弁 者	発言時間 (答弁含む)	目安の 時間
1	1. コロナ禍による新しい生活様式に向けた施策は (1) 新しい生活様式への対応について (2) 高齢者への新しいつながりの創出について (3) 新たな日常の構築について 2. コロナ禍に於ける災害避難は (1) 分散避難の定着について	樋口 富士男君	担当部長	30分	10:00 10:30
2	1. 福祉行政について (1) 生活支援について ①相談状況について ②エアコンの電気代補助について (2) コロナ感染の検査体制について (3) インフルエンザワクチンの無料接種について 2. 学校教育の充実について (1) 給食費の無料化について (2) オンライン授業について	川井 宏子君	市長 教育長 担当部長	60分	10:30 11:30
3	1. 情報通信技術（ICT）の利活用について (1) 鹿嶋市情報化計画について (2) 施策の進捗と課題について (3) 新たな課題と対応策について (4) 人材育成方針について (5) 予算方針について	笹沼 康弘君	市長 担当部長	30分	11:30 12:00
4	1. 第4次鹿嶋市総合計画について (1) アフターコロナの市民生活をどのように考えるか (2) 第3次計画の検証と策定の進捗状況について (3) 個別計画との関連について 2. 鹿嶋市の公共工事について (1) 総合評価落札方式の拡大について (2) 建設発生土の処理について	小松崎 敏紀君	市長 担当部長	45分	13:00 13:45
5	1. 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 感染者及び関係者の人権に配慮した対応 (2) 感染拡大予防アプリとプライバシー保護の対応 (3) 学校の全国一斉臨時休業の評価と今後の方向性 (4) 小中学校における人権教育の実施 (5) 学校の新しい生活様式の矛盾	菅谷 毅君	市長 教育長 担当部長	45分	13:45 14:30
6	1. コロナ禍における市政運営 (1) 災害対策と避難所運営 (2) 生徒・児童・園児の感染対策 (3) 学校・園等での感染者が発生したときの対応の情報公開 (4) 市としての今後のコロナ経済対策 (5) 市道0102号線の事故の発生状況と対策について 2. 子宝手当 (1) 市は効果があったというが、周辺自治体の第3子の出生率と比較したときに、どれほどの効果があったのか (2) 過去10年間の第3子以降の出生数と、2子までの世帯と3子以上いる世帯の割合の変化は。2子までの世帯の範囲は、第2子が6歳以下のもので比較するものとする (3) 周辺4市町村と比較すると、どれほど増えたと言えるのか (4) 対象世帯の社会移動による増減数は (5) 上記のことから、子宝手当を支給したことによって、第3子以降の子どもが生まれた数は、何人増えたと言えるのか 3. 閑鉄跡地の駐車場整備及び歴史資料館等の中心市街地活性化事業 (1) 駐車場の管理はどこがするのか (2) 既存の駐車場経営されている民間事業者の方との共存に向けての話し合いはされているのか (3) 駐車場の損益分岐点は年間の稼働率が何%になったときなのか (4) 委託先の管理者が赤字経営となったとき、どこが資金負担するのか (5) 赤字を相殺する目的で市の別な事業を当該団体に委託することは、あってはならないことだと考えているが	佐藤 信成君	市長 教育長 担当部長	70分	14:30 15:40

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

(9月9日)

令和2年第3回鹿嶋市議会定例会

番号	質 問 事 項	質 問 者	答 弁 者	発言時間 (答弁含む)	目安の 時間
7	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 感染拡大防止の具体策は</p> <p>①現状の認識を問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の先進事例をどう捉えているか ・日本の現状をどう思うか ・秋からの対策, 計画はどうなっているのか <p>②PCR検査の状況は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮来保健所の現状はどうなっているか ・PCR検査の拡大こそパンデミック克服のポイントと考えるが, 市の認識は <p>2. まちづくりの考え方について (1) コロナ感染拡大の中での方向性を問う</p> <p>①市民意識も財政見直しも激変する中, 根本的な見直しが求められるのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮中賑わい事業の先送りをもっと具体的に考える必要があるのではないか <p>②歴史資料館等, 文化財保護の方向性を問う</p> <p>3. ゴミ処理の今後について (1) 新可燃ゴミ焼却施設建設の見直しについて</p> <p>①過大な負担が求められるが, 対応策は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の見直しはどうか, また補助金が打切られた場合の対応策は <p>②ゴミ減量化と大型焼却炉は矛盾すると思わないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会を目指すことは世界の流れ。逆行する現計画は見直すべきである 	立原 弘一君	市 長 教 育 長 担 当 部 長	60分	15:40 16:40
発 言 時 間 (答 弁 も 含 む) 合 計		340分(5時間40分)			